

崇智徳の真玉

学校教育目標：命・人権を大切にし、豊かな心を持ち、
学ぶ力を身につけた、たくましい子どもの育成
ホームページ<http://hhigashi@town.aisho.lg.jp>

R3. 7. 16発行

秦荘東小学校

発行責任者

校長 今村 増弘

1学期の学習を終えられ、ありがとうございました。

本日、7月16日（金）に、令和3年度、第1学期の終業式をテレビ放送にて行うことができました。終業式は、短時間にして全校の子どもたちと対面してお話できるように運動場で行おうと決めていたのですが、昨夜の雨のために実施することができませんでした。終業式では次のこととお話ししました。まず、全校の子どもたちに届いたかは定かではありませんが、私の『笑顔』をテレビに映してもらいました。なんでこんなに笑顔なのかと言うと、学校だよりの最初にも毎回掲載していますが、秦荘東小学校の学校教育目標である【命・人権を大切にする】ことができたからだとお話ししました。



まず、命ですが、長引いているコロナ禍で、全校のみんな、そして先生方が、誰一人として新型コロナウイルスに感染することなく元気に過ごさせていただけましたこと。みんなが新しい生活様式をしっかりと守って生活できたことがうれしかったとお話ししました。昨年ではできなかった水泳が、今年はいろいろな制約はあったものの、天候にも恵まれ、たくさん泳ぐことができました。そして、最も気にしていた学校行事の1つ、泊をともなう6年生の若狭青少年自然の家での修学旅行〔自然体験〕を無事実施することができたことです。〔紙面の写真は、6年生の若狭青少年自然の家でのものです〕



次に人権ですが、自分はもちろんのこと、周りにお友だちを大切にできたこと、誰一人として学校がいやだから学校に来られないという子どもがいないことがとってもうれしいことだとお話ししました。これは子どもたちの前で話す機会に、繰り返し話すようにしてきたことですが、命が大切なのは当たり前のこと、命は何にも代えがたい大切なもの、それと同じように人権も互いが守って尊重しなければならない大切なもの。人は人に認められてこそその存在を意識できる。周りにお友だちのなかに、しょんぼりしている人はいないか、そんなことを気

にできるみんなが素晴らしいというようなこととお話ししました。

このコロナ禍で、本当にお仕事が大変な状況のお家もたくさんあることと思います。それでも毎日子どもたちを元気に学校に送り出していただき、6年生の修学旅行を筆頭に、感染予防は大丈夫なのかとご心配をおかけしたことと思います。実際、目に見えない感染症との戦いは、不安とともにあります。しかし、感染者数等のデータや、

最新の情報を鑑み、探り探りのできる方法を考えて過ごしてきました。保護者や地域の皆様には、ご心配とともにご理解とご協力を得て、今日の日を迎えられたこと、本当に感謝しかありません。長い夏休みを控えています。子どもたちには、行きたいところに自由に行けない、いつものお盆のようななかなか親戚も集まって賑やかに過ごせないといった不自由さの夏休みが2年目になります。しかし、これも昨年とは違いワクチンが徐々に行き渡り、高齢者の重篤患者数は減ってきているとの情報もあります。工夫をして過ごしてほしいと思います。8月27日（金）の第2学期の始業式に、全校児童がそろいますように、くれぐれも事件・事故にまきこまれることのないように、子どもたちの見守りをよろしくお願いいたします。コロナ禍の学校教育に力強いご支援を賜り、ありがとうございました。



コロナ禍ですが、工夫してできることにチャレンジ

コロナ禍で、制約を受けますが、せっかくの夏休みです。何か計画を立てて、日頃なかなかできないことにチャレンジしてみてください。6年生は、小学校生活最後の夏休みです。中学生になったら、夏休みも部活動で、毎日学校に行くことになり、平日とあまり変わらなく過ぎていくことと思います。また、他の学年にしても、その学年での夏休みは当然のこと今回限りです。お家の人も相談をして、〇〇をした夏休み、〇〇ができた夏休みと振り返って自信につながる体験・学習にチャレンジしてみてください。では、2学期の始業式に、日焼けしてたくましくなったみなさんに会えるのを楽しみにしています。すてきな夏休みにしてください。

